

国際シンポジウム「温暖化予測の鍵、海のCO₂」の開催について

気象庁は、平成 21 年 3 月 3 日（火）に、国際シンポジウム「温暖化予測の鍵、海のCO₂」を開催します。この国際シンポジウムでは、地球温暖化予測における海洋CO₂の重要性について、第一線で活躍する国内外の研究者がわかりやすく解説します。（通訳付）

本シンポジウムは、海洋政策研究財団の平成 20 年度海外交流基金により実施するものです。

人類が大気中に放出している二酸化炭素（人為起源CO₂）は、進行中の地球温暖化の主な原因であるとされています。この人為起源CO₂の約 3 割は、現在海洋に吸収されており、これによって地球温暖化が緩和されていると考えられます。しかし、これからも海洋が同じペースでCO₂を吸収し続けるかは明らかではなく、地球温暖化の予測や対策のためには、海洋のCO₂吸収に関する更なる科学的知見が必要です。

気象庁では、北西太平洋の温暖化と海洋CO₂に関する監視と予測の強化を目指し、海洋政策研究財団の海外交流基金による国際交流事業として、国内外の著名な研究者・専門家を招待し、「北西太平洋の温暖化とCO₂吸収能力の監視予測に関する国際会議」（3月2日（月）～4日（水））を開催します。

当シンポジウムは、同会議の一環として、地球温暖化予測における海洋CO₂の重要性を、広く一般の方にも知っていただくために実施するものです。なお、海外からの研究者の講演は英語が使用されますが、会場では日本語通訳でお聴きいただけます。

○国際シンポジウム「温暖化予測の鍵、海のCO₂」（詳細は別紙のとおり）

会 場： 気象庁 2F 講堂（東京都千代田区大手町 1-3-4）

日 時： 平成 21 年 3 月 3 日（火）14:00－16:30（開始 30 分前より受付）

参加方法： 当日会場にて受付（先着順、事前登録不要）

参加費： 無料

問い合わせ先： 気象庁地球環境・海洋部海洋気象課
電話 03-3212-8341（内線 5150）

(別紙)

国際シンポジウム「温暖化予測の鍵、海のCO₂」

日時： 平成 21 年 3 月 3 日 (火) 14:00～16:30 (開場 13:30)

会場： 気象庁 2F 講堂 (東京都千代田区大手町 1-3-4)

プログラム：

14:00－14:10 開会および開会の挨拶

14:10－14:50 「海と地球温暖化～IPCC 報告書から」

花輪 公雄 博士

(東北大学大学院理学研究科長・理学部長・教授)

14:50－15:30 「大気CO₂の海洋吸収と生態系への影響」

クリストファー・サーバイン博士

(米国海洋大気庁太平洋海洋環境研究所)

15:30－16:10 「人為起源CO₂の海洋吸収シミュレーション」

キース・ロジャーズ博士

(プリンストン大学大気海洋科学プログラム)

16:10－16:30 「海洋観測の国際連携と課題」

北村 佳照 博士

(気象庁地球環境・海洋部海洋気象課長)